



後藤滋樹

ごとう・しげき：早稲田大学 理工学部 情報学科教授。ISOC理事、APNG 議長、MINC理事を歴任。現在は APAN副議長としてアジア太平洋の インターネット界で活躍している。
goto@goto.info.waseda.ac.jp

黒い服装はダメ

これまでにシンガポールを幾度も訪問してきたが、今回の出張は特に記憶に残る旅行であった。なにしろシンガポールの若い友人の結婚披露宴に招待されて出席してきたのだから。

最初の招待状は数か月前の電子メールでの予告であった。出席できるならば正式の招待状を郵送するという。親しい仲間なのに、ずいぶんもったいぶっていると思う。実際に届いた招待状は、格別に立派な紙に綺麗に印刷されていて、なるほど確認してから送ってくるのにふさわしい。

問題なのは参加者の服装である。招待状の最後にはドレスコードとして「elvish or elegant」とある。エレガントはいいとしても、「elvish」とは妖精のことだ。新郎にメールで質問すると、それは語呂を合わせた冗談だという。いずれにしても中国式の披露宴であることが判明した。大学の研究室の史虹波さんが協力してくれて、参考になるウェブのページを見つけてくれた。[URL01](#) [URL02](#)

一方で、私はシンガポール国立大学の友人に習慣を聞く。バイオ情報が専門の Tan Tin Wee 先生は「男性が長袖のシャツにネクタイをして参加したら花婿・花嫁の親族と思われる。私が学生の披露宴に上着を着て行ったら花婿と間違われた。10年以上も以前のことだけど、コンピュータ科学の Roland Yap 先生は「女性が黒い服を着るのは避けたほうがいい」というアドバイスをくれた。今回は家内を同伴するので、有用な情報である。

ご祝儀はどうする

次に問題になるのは、ご祝儀である。中国式には赤い袋に現金を入れるという。1人で参加するならば80シンガポールドルから100ドルくらい。2人で参加する場合はその2倍という。

この赤い袋というのはウェブで見えることはできるのだが[URL03](#)、どうやら日本では入手が難しいらしい。シンガポールでは容易に入手できるというので、Roland Yap 先生との研究打ち合わせを披露宴の前の時間帯に予定して、そのときに彼に持って来てもらうように依頼する。

中国では8が縁起のいい数字だ。8にこだわる人はご祝儀を88ドルという金額にすることもある。2人で168ドルにすることもある。広東語で発音すると168は永続的繁栄の発音と同じだという。

こだわらないのが正解

シンガポールではネクタイをしなくても持参していればいい。私は暑がりなので、日本でもシンガポール式を実践している。今回は上着も一応は持参しよう。家内は淡いブルーの服装である。

会場はアルカフ・マンションという、昔のアラブの富豪の旧邸を利用したレストランである。ホテルから乗ったタクシーの運転手が言う。「旦那、あそこはいいところですよ。駐車場からの見晴らしがいいので、タクシーの運転手の昼寝の天国だ。」

中国式の披露宴は、絶対に招待状に書いてある時刻には始まらない。遅刻して行くのが普通だ。

このアドバイスを多くの人にもらっていたが、私たちは印刷してある開始時刻に到着した。明るいうちに庭園を見ておく作戦でもあった。アルカフ・マンションは丘の上の気持ちのいい場所にある。

まだ準備中の会場で新郎・新婦に挨拶をして、中国式の赤い祝袋を渡す。次第に増えてくる参加者を見ると、なるほどジーパンの若者もいれば、ドレスのお嬢さんもいる。実は黒い服装の女性も何人が参加している。あまり服装にはこだわらないのが実情のようだ。

霧を吹き出す扇風機

披露宴の会場は室内にテーブルと椅子が並んでいる。屋外にも大きなテントの下にテーブルと椅子がある。そのテントの中を速くから見ると霞んでいて白っぽい。近付いてみても霧がかかっている。テントの四隅にある支柱のところに巨大な扇風機があり、その羽根の前に水を噴霧するノズルがある。日本でいえばスキー場の人工降雪機のような仕掛けである。

シンガポールは進んでいる国だ。街を歩くと交通信号が発光ダイオード(LED)で構成されているのがわかる。東京ではまだ少ないタイプだ。地下鉄(MRT)の磁気カード式の乗車券が、10月からICカードに切り替わっている。地下鉄の路線がほとんど伸びて、チャンギ空港のターミナル2には駅ができた。チャイナタウンの駅も開業寸前である。小さいけれども実に活気のある国だ。

[URL01](http://www.pref.hokkaido.jp/keizai/kzbkkry/report/mishima98-8.html) http://www.pref.hokkaido.jp/keizai/kzbkkry/report/mishima98-8.html

[URL02](http://www.pref.hokkaido.jp/keizai/kzbkkry/report/aita00_08_10.html) http://www.pref.hokkaido.jp/keizai/kzbkkry/report/aita00_08_10.html

[URL03](http://fine.tok2.com/home/rainbow/singa/anpao.htm) http://fine.tok2.com/home/rainbow/singa/anpao.htm





[インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ] ご利用上の注意

このPDFファイルは、株式会社インプレスR&D(株式会社インプレスから分割)が1994年～2006年まで発行した月刊誌『インターネットマガジン』の誌面をPDF化し、「インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ」として以下のウェブサイト「All-in-One INTERNET magazine 2.0」で公開しているものです。

<http://i.impressRD.jp/bn>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、URL、団体・企業名、商品名、価格、プレゼント募集、アンケートなど)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真の撮影者、イラストの作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は収録されていない場合があります。
- このファイルやその内容を改変したり、商用を目的として再利用することはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用する際は、出典として媒体名および月号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレス R&D)、コピーライトなどの情報をご明記ください。
- オリジナルの雑誌の発行時点では、株式会社インプレス R&D(当時は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めましたが、すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接のおよび間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

このファイルに関するお問い合わせ先

株式会社インプレスR&D

All-in-One INTERNET magazine 編集部

im-info@impress.co.jp